

金融機関向けサービス

クラウド環境を利用した「オンライン入力受付サイト」の開設

事業の内容

1. 事業の目的と効果

目的：BCPの見直し

- ・信用保証業務は中小企業金融のインフラの一つ
- ・大規模災害、危機時におけるリモートワーク環境の整備

効果：生産性向上、顧客目線の利便性向上

- ・リモートワーク体制構築により危機時の縮退業務が可能
- ・顧客サービス向上への時間捻出が可能

2. 事業内容と成果目標

✓本サイトで「つなぎ融資承認願 ※1」が可能

インシデント発生時でもリモート業務で迅速な資金供給が可能に
ペーパーレス、リアルタイムで処理状況の確認が可能に

✓CRM構築 伴走型経営支援の実現

顧客情報をデータベース化し、必要な情報を適時把握
外出先でも使用でき、的確かつ迅速な経営支援が可能

✓各種報告書等をオンライン上で完結、利便性向上

対応メニュー順次、
拡大予定

金融機関が保証協会に対して提出する各種報告書式をWEB入力
事務処理の簡素化、迅速化を実現

※1正式な保証承諾迄の資金需要に対し、外形要件確認により実行するプロパー融資
正式な保証承諾の融資実行時に、当該つなぎ融資を借り換えするもの

3. 事業の背景と経緯

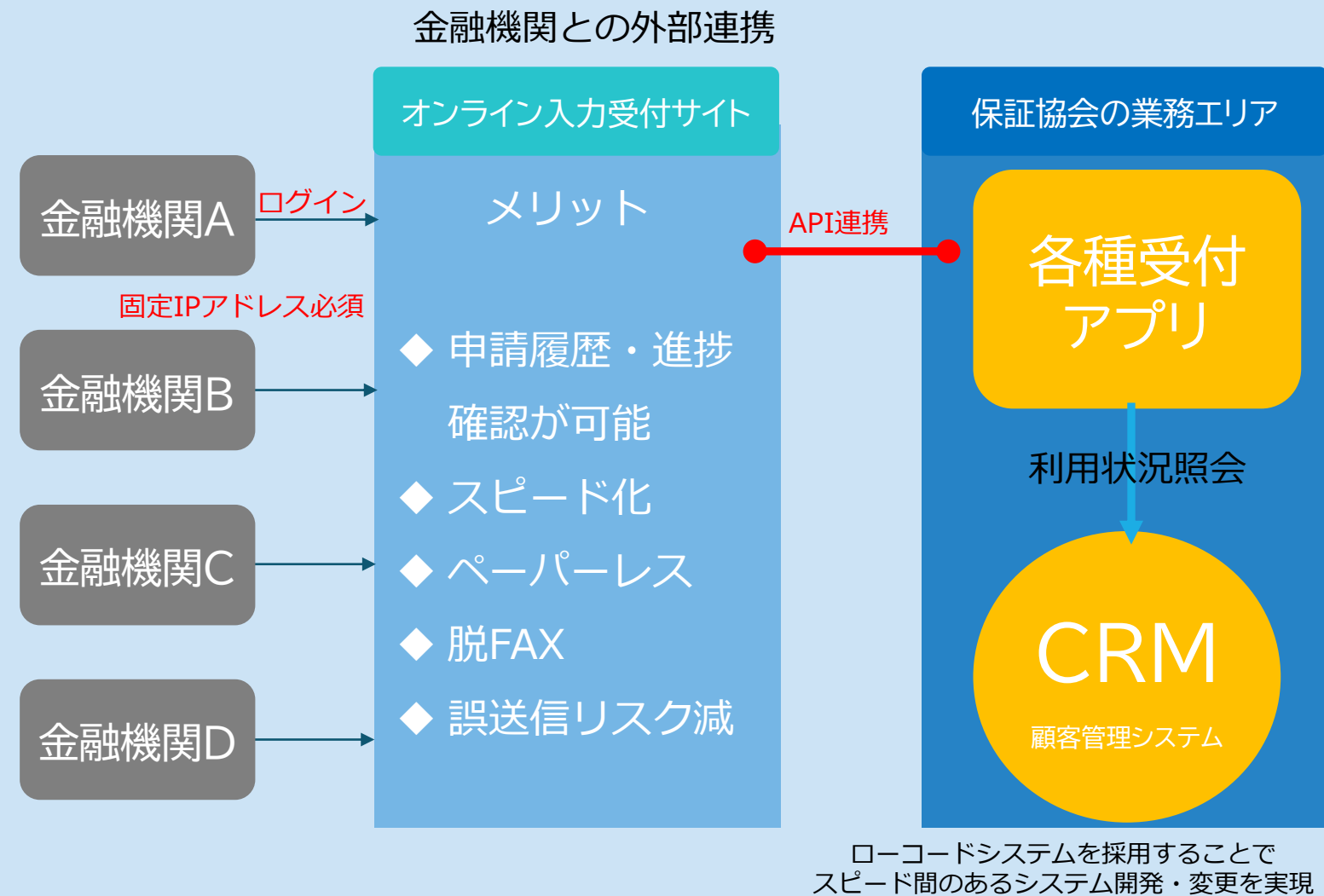
令和5年度重点施策「BCP対策・生産性向上のためのシステム投資」を令和6年度においてもアップデートし継続実施

- 【令和5年度取組内容】⇒ 全職員にネットPCとスマホを完備（固定電話廃止）
- ・つなぎ融資承認願をオンライン上で申請可能とし、協会側の照会・回答はリモートでも可能に（令和6年2月実施）
- ・照会業務に必要な顧客情報をノーコードアプリ「Kintone」でデータベース化し、CRMを構築 ⇒ 伴走型の経営支援を実現（令和5年11月実施）

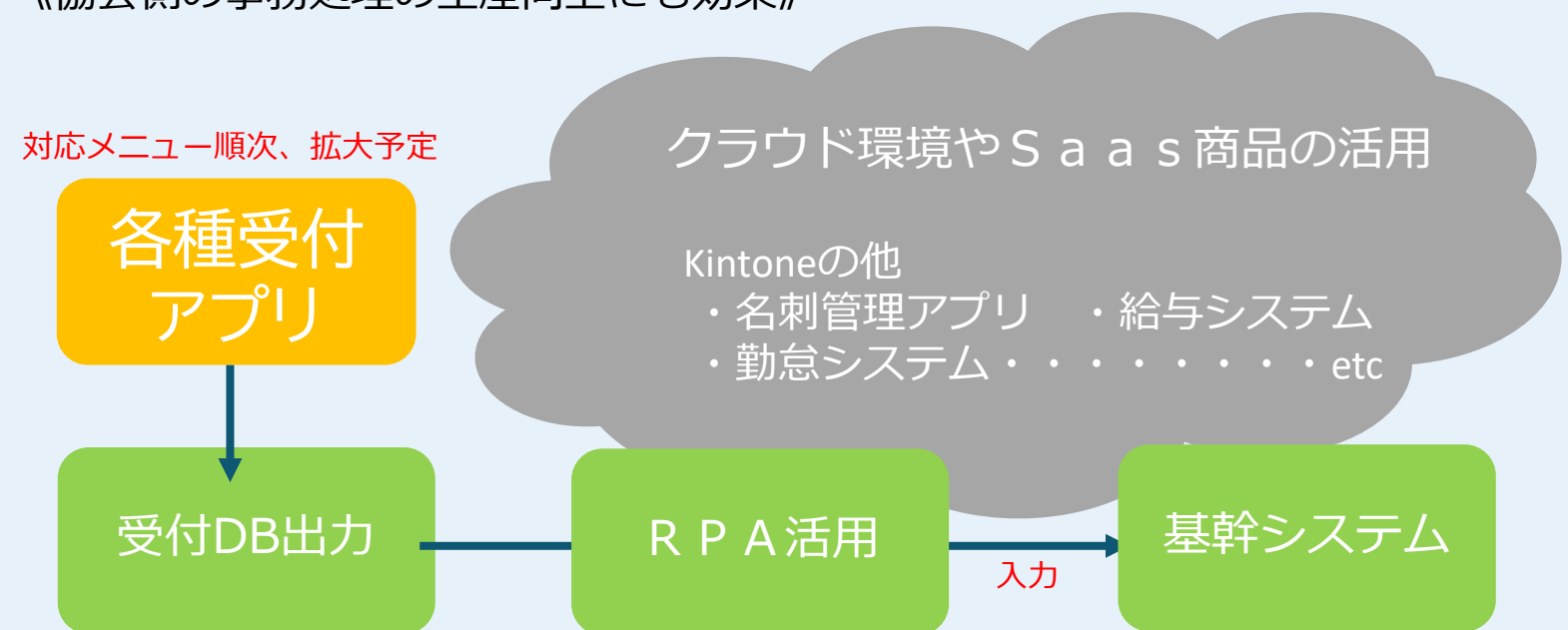
これらの情報資産を活用して

各種報告書等をオンライン上で完結、利用者目線の利便性向上へ
令和6年2月から北國銀行と運用開始し、順次、他金融機関へ展開

事業イメージ



《協会側の事務処理の生産向上にも効果》



危機管理体制の強化
BCP起点

システムクラウド化
(閉域LANの基幹系除く)

クラウド化+スマホ
(リモートワーク体制構築)

オンライン入力受付サイト
開設

顧客目線の利便性向上
継続的な生産性の向上